

外皮計算書簡単ガイド

■ 目的別外皮計算書の使い方

○ 簡単に計算したい（初心者向け）

→ 木造戸建て住宅(当該住戸の外皮の部位の面積等を用いずに外皮性能を評価する方法)

【特徴】

- ・住宅の外皮の部位の面積を用いず、簡易に外皮性能を算出できる形式です。
- ・木造住宅専用です。一部鉄骨等の構造部材等を用いる住宅の外皮計算に使用することはできません。

○ 手間をかけずに計算したい（一定に知識を有している方）

→ 木造戸建て住宅（仕様選択型）

【特徴】

- ・開口部（建具・ガラス等）の仕様をプルダウンにて選択することが可能な形式です。
- ・仕様ごとに決められた性能値を採用するものです。個別に性能値を入力することはできません。
- ・部位ごとに断熱材のみの性能で計算されます。（断熱材以外の性能を算入することはできません。例：合板、せっこうボード、仕上材・・・）
- ・断熱材が複層になっている場合（付加断熱など）には計算できません。
- ・GL+400を超える基礎立ち上がり部分の計算はできません。

○ 詳細に条件を設定して計算したい

→ 木造戸建て住宅（標準入力型）

【特徴】

- ・熱貫流率 U 値および日射熱取得率 η 値を直接入力する形式です。
- ・複数の断熱材を組み合わせる場合など、より詳細な計算が可能です。

○ RC造等共同住宅の計算を行いたい

→ RC造等共同住宅（標準入力型）

【特徴】

- ・RC造共同住宅の他、木造の共同住宅等（共同住宅、長屋、店舗併用住宅）で使用できます。
 - ※ 木造の共同住宅等の場合は、構造熱橋部は考慮しないため、「構造熱橋部シート」を使用しません。
- ・界壁、界床等の温度差係数の入力ができます。

○ 部位の熱貫流率の計算を行いたい

→ 部位の熱貫流率計算シート（木造用・RC造用）

【特徴】

- ・木造用（面積比率法・熱貫流率補正法）、RC造用のシートを別途公開しています。
- ・各部位の熱貫流率の計算が可能です。

よくある質問

問 1 計算書の行を増やすなどファイルを編集して使用したいのですが、方法はありますか。

各計算書には、編集できないようにシート保護を設定しています。

ただし、部位の熱貫流率計算シート（木造用・RC造用）のみ、シート保護を設定していません。

こちらは、ご使用者の責任において編集して使用いただくことが可能です。

評価機関等における審査精度向上を目的にシート保護を設定しており、保護解除のご要望にはお応えしておりませんのでご了承ください。

問 2 各計算書の中に部位の熱貫流率を計算するシートが見当たりません。部位の熱貫流率を計算するにはどうしたらよいですか。

各部位の熱貫流率を計算するシートを別途公開しています。

[【H28】部位U値計算 EXCEL 版 ver1.0](#)

問 3 木造の共同住宅の場合、どの計算書を使用したらよいですか

R C造等共同住宅（標準入力型）を使用してください。木造の長屋、店舗併用住宅の場合も同計算書が使用できます。

問 4 鉄骨造に対応した外皮計算書はありますか。

こちらではご用意しておりません。

建築研究所HP「住宅・住戸の外皮性能の計算プログラム」

<https://www.kenken.go.jp/becc/#4-2>

などをご利用ください。

問 5 外皮計算に関するQ & Aはありますか。

住宅性能表示制度Q & A（温熱環境・エネルギー消費量に関すること）をご覧ください。

https://www.hyoukakyokai.or.jp/teikyo_joho/qa_list_g.php#B5